

科目名称	母性看護学Ⅱ (健康障害を持つ女性と母子への支援技術)	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 後期	2	45
担当教員	小池 佐知	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (助産師) ☐ 無	

【1】 授業概要

周産期の対象を総合的に理解し、女性や家族にとって重要なライフイベントである妊娠・出産をより安全に過ごし、育児を行うための援助方法を学ぶ。

【2】 学習目標

1. マタニティーサイクルにある対象および新生児に必要な看護技術を習得する。
2. 生殖医療に関する知識を学び、看護者の役割について理解する。
3. マタニティーサイクルにおける異常な経過やハイリスクについて理解する。
4. 紙上事例から正常なマタニティーサイクルにおける看護過程を展開できる。
5. 女性生殖器に障害のある対象の看護を理解する。

【3】 第1看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	・妊婦の看護にかかわる技術Ⅰ	講義
2	・妊婦の看護にかかわる技術Ⅱ	講義・演習
3	・産婦の看護にかかわる技術	講義・演習
4		
5	・褥婦の看護にかかわる技術	講義・演習
6		
7	・新生児の看護にかかわる技術	講義・演習
8		
9	・不妊および出生前診断と看護	講義
10	・ハイリスク妊娠と看護	講義
11		
12	・分娩の異常と看護	講義
13	・産褥の異常と看護	講義
14	・新生児の異常と看護	講義
15	・本人あるいは児に健康上の問題がある褥婦の看護	講義
16	・周産期の看護過程	講義 グループ ワーク
17		
18		
19	・女性生殖器の疾患を持つ対象の看護	講義
20		
21	・まつやま助産院の見学	
22		
23	・試験 まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験(80%) 技術演習・レポート(20%)により総合的に判断する。

【6】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院 第13版
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑨ 女性生殖器 医学書院 第15版
 ナーシンググラフィカ 母性看護学②母性看護技術 メディカ出版 2016年 第3版

【7】参考書

胎児心拍数モニタリング講座 メディカ出版 改訂2版

ウェルネスからみた 母性看護過程+病態関連図 医学書院 第3版

写真でわかる母性看護技術―褥婦・新生児の観察とケア、母乳育児を理解しよう! インターメディカ
(写真でわかるシリーズ) 2020年 新訂版

周産期ケアマニュアル サイオ出版 2020年第3版

【8】受講生へのメッセージ

妊娠期から産褥期にある対象の看護を演習等を多く取り入れながら、技術をイメージできるように授業をすすめていきます。母性看護学実習につながる内容も多く学びます。